

島根県少林寺拳法連盟

—— これまでのあゆみ

昭和48年、島根大学の少林寺拳法部のOBである永野氏と祐源氏が中心となり、4、5人で同好会を結成。県立武道館で練習していたが、不動禅少林寺拳法（当時）と名乗る団体の人たちも練習しており、対立することがあったようだ。

永野氏が少林寺拳法本部に連絡すると、中村氏に話が伝わった。そして中村氏は松江中部道院を設立。昭和50年島根大田道院、51年安来道院、59年島根江津道院、出雲道院、平成2年島根天領道院、平成4年島根川本支部、平成17年雲南道院が設立された。

これに島根大学少林寺拳法部、島根大学医学部少林寺拳法部が活動している。



研修会

—— 現在の状況

8道院、2支部あったのが、道院長の高齢化等により、現在5道院2支部になった。少子化の影響もあり、拳士数が激減している。しかし、インターハイ種目になり、高校生拳士は出場している。

—— これから

少林寺拳法の思想、技術を後進たちに伝えていけるよう、また技を修練することによって感動し、喜びをあげよう生涯修行として進化、深化していけるよう頑張っていきたい。



新春法会 鏡開き式での模範演武



島根県大会 表彰